

STREET FIGHTING MAN

ストリート・ファイティング・マン

Words & Music by Mick Jagger and Keith Richard

"Jumpin' Jack Flash" 同様に、いかにもストーンズらしいストレートな8ビート・ナンバーだ。ギターは2本ともエレクトリック・ギターを使っているが、ディストーションさせずにクリアなサウンドでプレイしている。セミ・アコースティック、あるいはエレクトリック・アコースティック・ギターを使った方が、このサウンドを再現しやすいかもしれない。キース・リチャードはオープンG・チューニングに、カポを4フレット目につけるやり方を得意としており、ライブなどではこの曲もそのやり方でプレイしている。このアルバムの制作当時にそのチューニングを行っていたかは不明であり、今回はノーマルなチューニングで弾いたものとして譜面にしておいた。もちろんオープンG・チューニング、カポ4フレットでも同様に弾くことはできる。これに関しては「バンド・スコア/ゲット・ヤ・ヤ・ヤズ・アウト」他を参考にしてもらいたい。④のボーカル・メロディはシンコペーシ

ョンのリズムが多用されており、少し複雑なノリになっているが、ベースやドラムは正確に8ビートをキープするようにしたい。ドラムはハイハットをほんのわずかにオープンさせるようにして刻み、スネアは少し重たい感じのノリで叩くようにするとよいだろう。バスドラは8ビートのパターンとしては変則的なものであり、スネアと同じ2、4拍目に踏んだりしている。少し叩きにくい、スネアとリズムがバラバラにならないように注意しよう。④からはピアノも入れられている。低音を強調したプレイだが、全体的に力強く弾くようにしたい。④の部分から弾かれているGt. 1のソロはハードなディストーションのかけられたものだが、これはアタッチメントを使った方がよいだろう。又、この曲では時々、シタールが効果音的に入れられている。ギターにフランジャーをかけて、同様のサウンドを出してもよいだろう。

Intro

Vocal

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

Vocal

— mers here and the time is right for fight - ing in the street — boy
 — I live the game to play is com - pro - mise so - lu - tion
 — and scream I'll kill the king I'll rall at all his ser - vants } Well what

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

Vocal

[B] F# B(on F#) F# B(on F#)

— can (a) poor boy do — 'cept to sing for (a) rock'n' roll band — 'Cause in slee -

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

64

Vocal

py Lon - don town — there's just no place — for a street fightin' man —

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

Vocal

no —

to Φ $\frac{1}{B}$ $E(on B)$

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

64

Vocal *E(onB)* *B* *C#* 2.

Other *Hey*

Guitar I 7 8 9 7 8 9

Guitar II 7 8 9

Bass

Drums

65

Vocal *C#* *B* *E(onB)* *B*

Other *no* *Hey*

Guitar I 7 8 9 7 8 9 7 8 9

Guitar II 7 8 9 7 8 9 7 8 9

Bass

Drums

D.S.

Coda

Vocal *B* *E(on B)* *F#* *B(on F#)*

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

Vocal *E* *C#*

Other

Guitar I

Guitar II

Bass

Drums

Repeat & F.O.